



2024年6月18日

各位

会社名 株式会社 LIXIL  
代表者名 代表執行役社長 兼 CEO 瀬戸 欣哉  
(コード番号 5938 東証プライム市場・名証プレミアム市場)  
問合せ先 IR 室 室長 川合 綾  
(TEL. 050-1790-5041)

**(訂正・数値データ訂正) 「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」及び  
「2024年3月期決算説明資料〔IFRS〕(2023年4月ー2024年3月)」の  
一部訂正について**

2024年4月30日に開示した表記資料について一部誤りがありましたので、お詫び申し上げますとともに、以下のとおり訂正いたします。なお、訂正箇所には下線を付しております。

また、数値データにも一部誤りがありましたので、訂正後の数値データも提出いたします。

記

**【訂正理由及び訂正内容】**

「2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)」公表後、連結キャッシュ・フロー計算書の記載内容の一部に誤りがあることが判明しましたので、2024年4月30日に開示した表記資料の一部を訂正いたします。

主な訂正内容は、以下のとおりです。

- ・営業活動によるキャッシュ・フローの「その他」及び「小計」並びに合計額が2,196百万円増加します。
- ・投資活動によるキャッシュ・フローの「有形固定資産の処分による収入」及び合計額が2,196百万円減少します。

**【訂正箇所】**

(1) 2024年3月期 決算短信〔IFRS〕(連結)

■ サマリー

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日ー2024年3月31日)  
(3) 連結キャッシュ・フローの状況

■ 添付資料5ページ

1. 経営成績等の概況  
(2) 当期の財政状態及びキャッシュ・フローの概況

■ 添付資料12ページ、13ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

営業活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・その他
- ・小計
- ・営業活動によるキャッシュ・フローの合計額

投資活動によるキャッシュ・フローの内訳

- ・有形固定資産の処分による収入
- ・投資活動によるキャッシュ・フローの合計額

(2) 2024年3月期決算説明資料〔IFRS〕(2023年4月ー2024年3月)

■ 13ページ キャッシュフローの状況及び現金残高

以上

■ サマリー

1. 2024年3月期の連結業績(2023年4月1日~2024年3月31日)

【訂正前】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2024年3月期	百万円 45,794	百万円 △27,680	百万円 △3,673	百万円 124,485
2023年3月期	15,005	△29,319	19,839	106,677

【訂正後】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
2024年3月期	百万円 47,990	百万円 △29,876	百万円 △3,673	百万円 124,485
2023年3月期	15,005	△29,319	19,839	106,677

■ 添付資料5ページ

1. 経営成績等の概況

(2) 当期の財政状態及びキャッシュ・フローの概況

【訂正前】

(省略)

営業活動によるキャッシュ・フローは、457億94百万円の資金増加となりました。前年同期に比べて307億89百万円の増加となり、この主な要因は、継続事業からの税引前利益の減少があったものの、税金支払額の減少に加え、棚卸資産、営業債務及びその他の債務、営業債権及びその他の債権などの運転資本の変動に伴う影響があったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、政策保有株式の売却や子会社の吸収分割に伴う一時的な収入などがあったものの、主に設備投資に伴う有形固定資産及び無形資産の取得による支出があったことなどから276億80百万円の資金減少となりました。前年同期に比べて16億39百万円の増加です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期、長期とも有利子負債の調達と返済を機動的に行ったことに加え、配当金やリース負債の支払があったことなどから36億73百万円の資金減少となりました。前年同期に比べて235億12百万円の減少です。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、換算差額による影響などを含めると、前連結会計年度末に比べて178億8百万円増加の1,244億85百万円です。

(省略)

【訂正後】

(省略)

営業活動によるキャッシュ・フローは、479億90百万円の資金増加となりました。前年同期に比べて329億85百万円の増加となり、この主な要因は、継続事業からの税引前利益の減少があったものの、税金支払額の減少に加え、棚卸資産、営業債務及びその他の債務、営業債権及びその他の債権などの運転資本の変動に伴う影響があったことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは、政策保有株式の売却や子会社の吸収分割に伴う一時的な収入などがあったものの、主に設備投資に伴う有形固定資産及び無形資産の取得による支出があったことなどから298億76百万円の資金減少となりました。前年同期に比べて5億57百万円の減少です。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期、長期とも有利子負債の調達と返済を機動的に行ったことに加え、配当金やリース負債の支払があったことなどから36億73百万円の資金減少となりました。前年同期に比べて235億12百万円の減少です。

これらの結果、当連結会計年度末の現金及び現金同等物は、換算差額による影響などを含めると、前連結会計年度末に比べて178億8百万円増加の1,244億85百万円です。

(省略)

■添付資料 12 ページ、13 ページ

3. 連結財務諸表及び主な注記

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前利益	19,759	6,664
非継続事業からの税引前損失	(1,255)	(7,416)
税引前利益(損失)	18,504	(752)
減価償却費及び償却費	81,900	81,330
減損損失	2,828	4,575
売却目的で保有する処分グループを売却コスト 控除後の公正価値で測定したことにより認識し た損失	—	1,097
未収入金を公正価値で測定したことにより認識 した損失(利益)	(298)	6,939
受取利息及び受取配当金	(2,495)	(2,779)
支払利息	5,375	10,125
持分法による投資損益(益)	10	153
売却目的で保有していた資産の処分益	(5,250)	—
売却目的で保有していた処分グループの処分益	—	(2,248)
有形固定資産処分損益(益)	1,841	1,506
投資不動産処分損益(益)	(106)	(6,417)
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	(5,073)	(1,026)
棚卸資産の増減額(増加)	(28,068)	33,292
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(19,776)	(76,472)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(12,442)	1,690
その他	(271)	9,620
小計	36,679	60,633
利息の受取額	1,068	1,576
配当金の受取額	1,525	2,152
利息の支払額	(5,554)	(9,863)
法人所得税等の支払額	(18,713)	(8,704)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,005	45,794

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (増加)	87	(3,564)
有形固定資産の取得による支出	(41,583)	(37,870)
有形固定資産の処分による収入	27,927	2,415
無形資産の取得による支出	(13,766)	(15,003)
投資不動産の処分による収入	187	7,176
子会社の取得による支出	(15,173)	—
子会社の売却による収入	—	2,112
短期貸付金の増減額 (増加)	(84)	5,226
投資の取得による支出	(88,537)	(79,286)
投資の売却及び償還による収入	101,942	81,737
吸収分割による収入	—	9,875
その他	(319)	(498)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(29,319)	(27,680)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	(26,001)	(25,840)
短期借入金及びコマースナル・ペーパーの増減額 (減少)	(1,488)	22,443
長期借入金の調達による収入	65,820	140,100
長期借入金の返済による支出	(42,331)	(93,229)
社債の発行による収入	54,747	—
社債の償還による支出	—	(25,000)
リース負債の支払額	(21,005)	(22,128)
自己株式の取得による支出	(10,049)	(15)
その他	146	(4)
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,839	(3,673)
現金及び現金同等物の増減額 (減少)	5,525	14,441
現金及び現金同等物の期首残高	100,404	106,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	748	3,367
現金及び現金同等物の期末残高	106,677	124,485

【訂正後】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
継続事業からの税引前利益	19,759	6,664
非継続事業からの税引前損失	(1,255)	(7,416)
税引前利益(損失)	18,504	(752)
減価償却費及び償却費	81,900	81,330
減損損失	2,828	4,575
売却目的で保有する処分グループを売却コスト 控除後の公正価値で測定したことにより認識し た損失	—	1,097
未収入金を公正価値で測定したことにより認識 した損失(利益)	(298)	6,939
受取利息及び受取配当金	(2,495)	(2,779)
支払利息	5,375	10,125
持分法による投資損益(益)	10	153
売却目的で保有していた資産の処分益	(5,250)	—
売却目的で保有していた処分グループの処分益	—	(2,248)
有形固定資産処分損益(益)	1,841	1,506
投資不動産処分損益(益)	(106)	(6,417)
営業債権及びその他の債権の増減額(増加)	(5,073)	(1,026)
棚卸資産の増減額(増加)	(28,068)	33,292
営業債務及びその他の債務の増減額(減少)	(19,776)	(76,472)
退職給付に係る負債の増減額(減少)	(12,442)	1,690
その他	(271)	11,816
小計	36,679	62,829
利息の受取額	1,068	1,576
配当金の受取額	1,525	2,152
利息の支払額	(5,554)	(9,863)
法人所得税等の支払額	(18,713)	(8,704)
営業活動によるキャッシュ・フロー	15,005	47,990

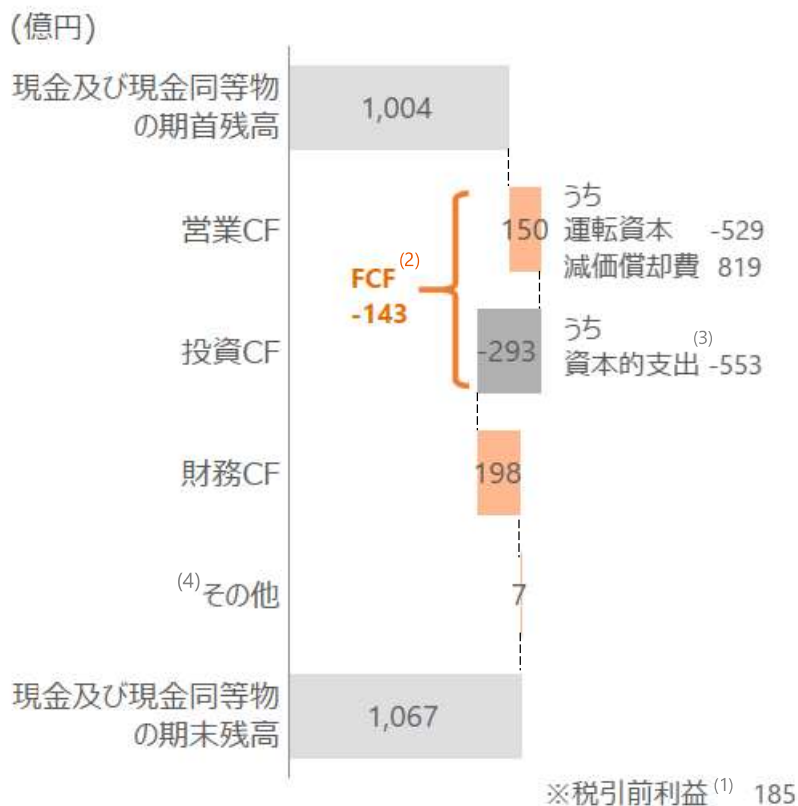
(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)	当連結会計年度 (自 2023年4月1日 至 2024年3月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (増加)	87	(3,564)
有形固定資産の取得による支出	(41,583)	(37,870)
有形固定資産の処分による収入	27,927	219
無形資産の取得による支出	(13,766)	(15,003)
投資不動産の処分による収入	187	7,176
子会社の取得による支出	(15,173)	—
子会社の売却による収入	—	2,112
短期貸付金の増減額 (増加)	(84)	5,226
投資の取得による支出	(88,537)	(79,286)
投資の売却及び償還による収入	101,942	81,737
吸収分割による収入	—	9,875
その他	(319)	(498)
投資活動によるキャッシュ・フロー	(29,319)	(29,876)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	(26,001)	(25,840)
短期借入金及びコマースナル・ペーパーの増減額 (減少)	(1,488)	22,443
長期借入金の調達による収入	65,820	140,100
長期借入金の返済による支出	(42,331)	(93,229)
社債の発行による収入	54,747	—
社債の償還による支出	—	(25,000)
リース負債の支払額	(21,005)	(22,128)
自己株式の取得による支出	(10,049)	(15)
その他	146	(4)
財務活動によるキャッシュ・フロー	19,839	(3,673)
現金及び現金同等物の増減額 (減少)	5,525	14,441
現金及び現金同等物の期首残高	100,404	106,677
現金及び現金同等物に係る換算差額	748	3,367
現金及び現金同等物の期末残高	106,677	124,485

# キャッシュフローの状況及び現金残高

棚卸資産削減の進捗により、営業キャッシュフローは大幅改善、フリーキャッシュフローもプラスに転じ、前年同期比で324億円改善

## 23/3期 通期<sup>(1)</sup>



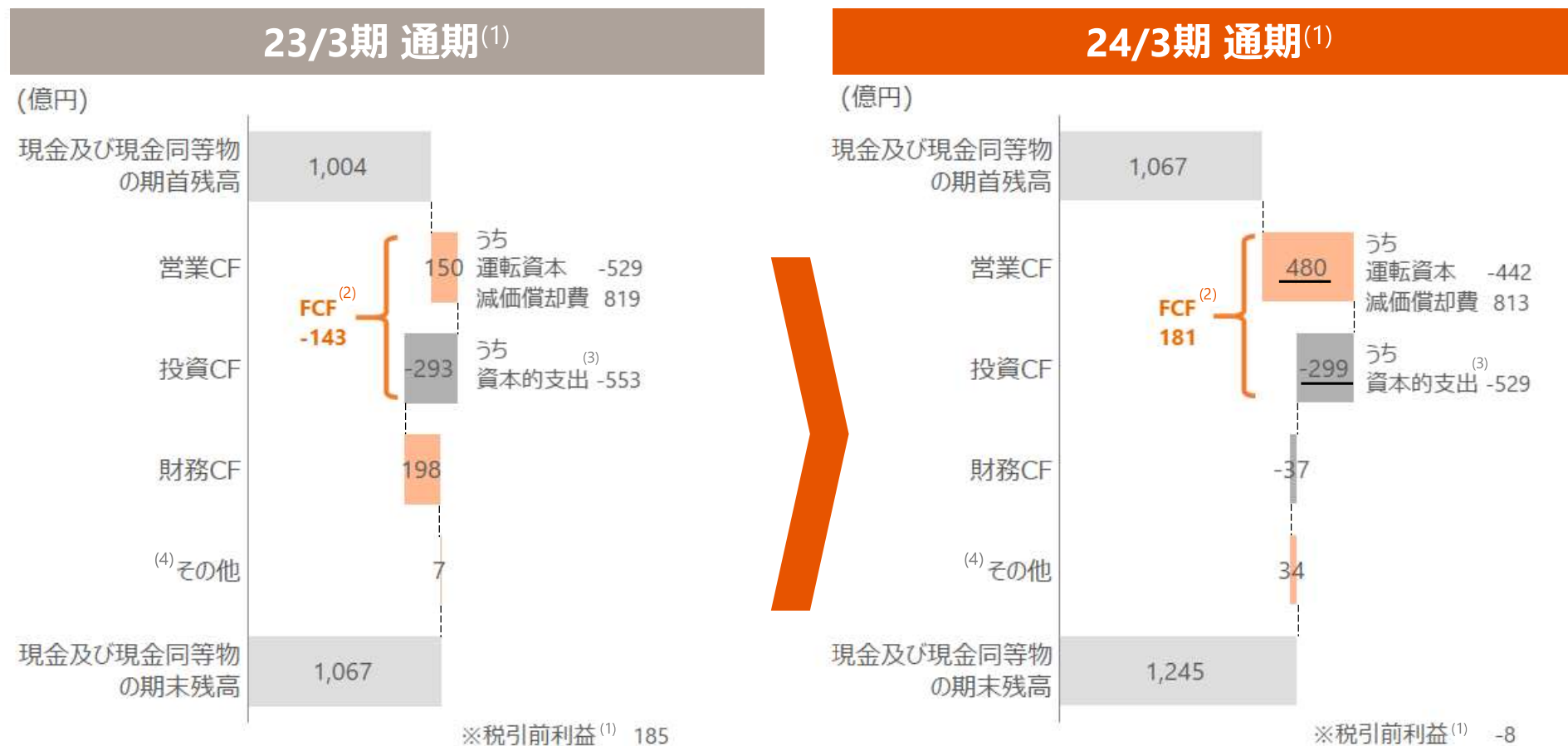
## 24/3期 通期<sup>(1)</sup>



# キャッシュフローの状況及び現金残高

訂正後

棚卸資産削減の進捗により、営業キャッシュフローは大幅改善、フリーキャッシュフローもプラスに転じ、前年同期比で324億円改善



(1) 非継続事業を含む  
 (2) フリーキャッシュフロー (FCF) = 営業CF+投資CF で計算

(3) 資本的支出=有形資産の取得+無形資産の取得 (IFRS16 リースによる使用权資産の取得を除く)

(4) 「その他」 = 為替換算影響額